令和 8 年度 第 12 回日本火葬フォーラム 開催報告と御礼

令和 8 年度『第 12 回日本火葬フォーラム』は、昨日 10 月 22 日（木）、埼玉県さいたま市大宮区の大宮ソニックシティにて無事開催することができました。
今回は過去最多となる 50 名の参加があり、フォーラム終了後の懇親会では参加者同士の盛んな交流が行われ、課題とされている火葬場勤務者同士の情報交換が進んだものと考えております。

今回の開催では、これまでと少し趣を変え、『地域に親しまれる火葬場とは』をテーマに、鹿児島県、富山県、愛知県の異なる 3 つの現場での取り組みについて、実際に勤務されている方々からお聞きすることができました。それぞれの地域の特性と現状がよく表れていたと思います。参加者アンケートでも、新たな気づきがあったとのご意見を多くいただきました。

また、火葬技術管理士の資格制度における通信教育についても、より詳しく説明することができ、大切な機会をいただいたと思います。
さらに、昨年度より提言しております火葬業務従事者の労働単価についても、内容に改良を加え、自治体の皆様に直接届けられるよう発信方法を見直しました。今後の活動に弾みがついたものと思います。

開催にあたり、ご後援をいただいた NPO 法人日本環境斎苑協会様、施設見学にご協力いただいた富士建設工業株式会社様をはじめ、斎場や火葬場の運営に携わる企業や現場で従事される方々から多くのご協力をいただきました。
また、当日ご参加いただいた皆様にも心より感謝申し上げます。

これからも火葬業務従事者の資質向上と社会的地位の向上に向けて精進してまいります。
ありがとうございました。

令和 8 年 10 月 23 日

一般社団法人 日本火葬技術管理士会
会長　玉寄　将